

KOBE



こうべまちづくりセンターニュース VOL.7

第7号(冬号)

発行●
財神戸市都市整備公社
こうべまちづくりセンター

1996年12月発行

あーんトーク

すまい・まちの新たな出発——建物再建に着手

こうべすまい・まちづくり人材センターでは、平成7年7月7日の発足以来、専門家をアドバイザーやコンサルタントとして地域に派遣してきました。

すまい・まちづくり人材センターができて1年あまり、建物の着工にこぎつけたケースもかなり出てきました。そのうちのいくつかをご紹介します。



一の谷
グリーン
ハイツ
A・B

震災で全・半壊の被害を受けた二棟が住民全員の合意により建替に着手。コンサルタントが住民の意見調整、事業計画書の作成など担い、いち早く建設にこぎつけた。

- 敷地面積 / A 1,876.34㎡
B 2,882.75㎡
- 延床面積 / A 4,582.27㎡
B 6,391.35㎡
- 住宅戸数 / A 45戸・B 57戸
- 着工 / A 平成8年5月16日
B 平成8年8月27日
- 完成予定 / A 平成9年3月末日
B 平成9年7月末日

新在家
南町A・B



被災した住宅の再建を細街路の整備とあわせて行うために、まちづくりコンサルタントより共同化の呼びかけを行ったところ、これに賛同した地権者及びデベロッパーの協力を得て、地域のまちなみに調和した良好で質の高いデザインの共同住宅の建設にこぎつけた。

- 敷地面積 / A 712.79㎡・B 665.59㎡
- 延床面積 / A 2,111.41㎡・B 1,986.91㎡
- 住宅戸数 / A 71戸・B 32戸
- 着工 / A 平成8年9月25日
B 平成8年9月25日
- 完成予定 / A 平成9年8月
B 平成9年8月

御旅
センター
市場

30店以上あった小売市場を共同化し、住宅と店舗を建設。12階建。

- 敷地面積 / 1,243.09㎡
- 延床面積 / 5,887.75㎡
- 住宅戸数 / 71戸
- 着工 / 平成8年10月1日
- 完成予定 / 平成10年8月末日



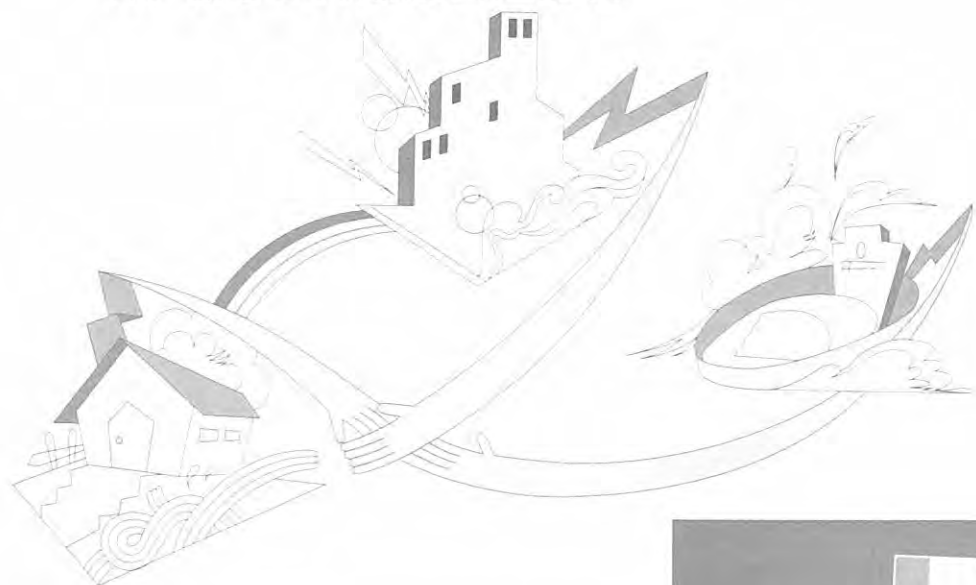
すまい・まちづくりのご相談は

■すまい・まちづくり人材センター
(こうべまちづくり会館3階)
☎078-361-4377
受付曜日 / 月、火、木、金曜日
(ただし、年末年始は除く)
受付時間 / 午前10時～午後5時

■祝日、土・日曜日は
まちづくり相談コーナーへ
(こうべまちづくり会館4階)
☎078-361-4523
受付時間 / 午前10時～午後5時

まちとまちを結ぶネットワーク

“神戸まちづくり協議会連絡会”



震災以後、多くのまちづくり協議会ができています。これらの協議会の横断的な連絡組織として、平成8年7月に「神戸まちづくり協議会連絡会」が設立されました。9月27日には、この連絡会の参加協議会を中心とする「まちづくり協議会」の役員を対象に人材センターの制度や各種の支援制度を紹介する説明会を開きました。約50名の方々が参加し、支援制度の説明に耳を傾けるとともに活発な発言がありました。最後に「まちづくり協議会連絡会」の中島事務局長から連絡会への参加の呼びかけがありました。



住民主体のまちづくりを進めて行くうえで、まちづくり協議会の果たす役割に注目が集まっていますが、各地区での経験や情報を交換できるネットワークとしての「神戸まちづくり協議会連絡会」の活動に期待がもたれます。

歴史と風格あるまち“旧居留地”への強い思いが、復興の原動力に。



旧居留地連絡協議会・会長 (株)ノザワ最高顧問 野澤太一郎氏

プロフィール

昭和32年甲南大学経済学部卒業後、カナダ・アスベストコーポレーションを経て、昭和33年野澤石綿セメント株式会社（昭和44年株式会社ノザワに社名変更）に入社。その年の11月に取締役、昭和42年取締役社長となり、平成7年からは最高顧問に。神戸商工会議所常議員のほか、現在14の団体で会長、理事などを歴任。旧居留地連絡協議会の会長としてまちづくりを推進している。昭和62年11月には藍綬褒章を受章。



開港以来120年以上にわたる神戸の歴史の舞台として、独自性の高いまちなみを形成し、神戸の中核業務地として発展を遂げてきた旧居留地。ここではエリア内の企業・テナントなど現在105社から成る旧居留地連絡協議会が中心となり、旧居留地のまちづくりを進めている。平成4年から連絡協議会会長を務めておられる(株)ノザワ最高顧問の野澤太一郎氏にお話をうかがった。

「以前（震災前）は、旧居留地のまちなみ保存と景観の形成を中心にまちづくりを進めてきました。地域内に電柱や看板を設置しない、自動販売機を道に出さない。さらに、あちこちにフラワーポットを置くなど飾花を進め、積極的に美しいまちづくりに取り組んできました。」

まちに対する思いが深く、多くの取り組みを実践してきた地区だからこそ、震災で大きな打撃を受けた後の立ち上がりも実に早かった。いち早く復興をと第1回の集いがもたれたのは震災後すぐの2月のこと。「まだ大変な時期で、またとても寒い日でしたが、大丸駐車場に実に多くの人々が集結。少しでも早く元のまちになるよう話し合いました」という。

この年の5月には旧居留地の復興計画づくりを本格的に開始。専門知識のある人たちがボランティアで集まり、時には週に2度もの話し合いの場を持つ中で、昨年10月、「神戸旧居留地／復興計画」という一冊の冊子を完成させた。復興の目標やこれからのまちづくりの方針を明文化した計画書である。

まちづくりの方向性を決める上でまず大切なのは、どのようなまちづくりをめざすのイメージを統一することである。旧居留地では“にぎわいと風格ある中核業務地”を今後のまちづくりのトータルイメージとしてとらえ、まち全体が公園でありミュージ

アムであるまち、人間主体で歩行者にやさしいまちをめざす。具体的には、歩道の幅を広げるとともに、従来以上にイベントが開催できるよう公園などの空間づくりにも積極的に取り組む方針だ。また、まちなみ形成の目標としては、①都心業務地にふさわしいにぎわいのある街並みの形成、②歴史的環境に配慮した風格ある都市景観の形成、③親しみとろうおいのある地区環境の整備を掲げ、これまで以上に魅力あるまちづくりを進めていく。

さらに、この計画書の中では、非常時にまち全体が一時的避難場所として活用しうるような、都市防災拠点地区となるにふさわしい安全性も考慮。ビル corner などに空間を設けて避難場所を確保していくほか、地下貯水槽をもつ公園づくりについても構想を広げている。

このような復興への幅広い歩みの中でも、特に強く望まれるのが、早期ビル再建だ。地区内で倒壊したビルは22棟。中には再建のメドがたたないものもあり問題は山積みだが、既に完成した第一ビルを筆頭に、復興は着実に進んでいる。

「旧居留地を象徴するような風格のあるビルのうち、海岸ビルはすでに再建が決定。ビル内は現代的なものになりますが、外壁は旧居留地の景観に合わせて復元します。また、国の重要文化財である旧居留地15番館は、平成10年3月完成をめざして、この夏から再建に着手。外観はこれまでどおりに復元しますが、設計上は地下2階まで掘り下げた耐震性の高いものに生まれ変わります」。現在再建中のビルの多くは来年から再来年にかけて完成予定という。

ところで、旧居留地と言えば、昨年注目を集めたルミナリエが今年も開催される。デザインも新たに、規模も拡大して行われる今年のルミナリエは、昨年同様、神戸復興のシンボルとして、元気な神戸を内外に発信していく。「昼間人口の集中する中核業務地であると同時に、今後は夜間や休日も人が集まる楽しいまちづくりをめざしていきたい」という旧居留地。ルミナリエはこれからの旧居留地を象徴する大きな一歩となりそうだ。



次回 復興まちづくりセミナー

- 日時／平成9年1月24日(金)
14:00~16:00
- 会場／産業振興センター・ホール
(中央区東川崎町1丁目)

■テーマ / まちづくりにおける専門家の役割りと可能性

- ・事例報告 (パネルディスカッション方式)
パネリスト
- 1 株環境再開発研究所 白國高弘氏
- 2 南神戸商業開発研究所 高見貞幸氏
- 3 株都市・計画・設計研究所 岩崎俊延氏
- 4 弁護士 井口寛司氏
- コーディネーター
神戸新聞情報科学研究所顧問 山ロー史氏

まちづくり情報センター4F
資料ニュース

まちづくり情報センターでは、まちづくりに関する資料に加え、震災関連の図書やビデオを多数揃えています。ぜひご利用ください。

BOOK



① 「土木が遭遇した阪神大震災 被害現場が教える地域防災へのヒント」

日経コンストラクション編

今回の震災における被害状況などを、土木の視点から専門的に分析し、耐震都市づくりへの提言をまとめています。

あーばんトークバックナンバーも掲載

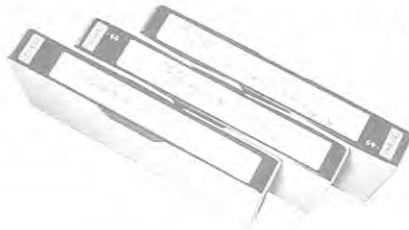
② 阪神大震災・復興市民のまちづくり vol.1～6

阪神大震災復興まちづくり支援ネットワーク事務局編
市民参加型まちづくりの息吹を伝える地域に密着した「まちづくり通信」の合本。行政の配布資料も併載しています。

③ 阪神・淡路大震災における消防活動の記録－神戸市域－
神戸市消防局編集

財神戸市防災安全公社／東京法令出版株式会社発行
神戸市消防局が綴る、阪神・淡路大震災の被害状況と消防活動の記録誌。

VIDEO



記憶のための連作

● 「人間のまち、野田北部・鷹取の人びと」
第1部～第4部

監督：青池憲司

コミュニティ相談センター(4F)では、
みなさまの地域活動をお手伝いします。

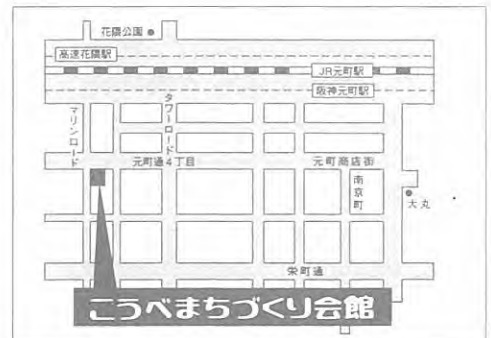
相談コーナーでは、活動推進員が、組織の運営や様々な事業についての
皆さまのご相談にお答えします。お気軽にお立ち寄りください。

☎(078)361-4565(直通)



こうべまちづくり会館ギャラリー <12月以降の予定>

開催番号	開催期間	展示内容	主催者
33	12月12日(休)～12月17日(火)	主体美術兵庫グループ	主体美術兵庫作家
34	12月19日(休)～12月24日(火)	神戸大学写真部 部展	神戸大学写真部
35	9年1月5日(日)～1月7日(火)	六甲摩耶写生画展	財神戸市都市整備公社
36	1月24日(金)～1月28日(火)	丹下幸男水彩画教室展	奈良原 啓造
37	1月30日(休)～2月4日(火)	光風会 神戸グループ展	生野 彌二郎
38	2月6日(休)～2月11日(火)	安田泰幸 神戸・旅のコラージュ展	安田 泰幸
39	2月21日(金)～2月25日(火)	ぐるーぷひらの展	平野小学校美術開放教室
40	2月28日(休)～3月4日(火)	第16回 兵庫倶楽部写真友会写真展	兵庫倶楽部写真友会
41	3月20日(休)～3月25日(火)	親和展	親和学園美術部
42	3月27日(休)～4月1日(火)	第5回 日韓美術交流展	日韓美術交友会



〒650 神戸市中央区元町通4丁目2番14号
☎ (078) 361-4523
FAX (078) 361-4546